

# 平成27年度(2015年度)学校評価

学校番号72 長野県木曾青峰高等学校

全日制

学校教育目標	重点目標
<p>広い視野とやさしく豊かな心を持ち、真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人間を育成する。</p> <p><b>(教育方針)</b></p> <p>①自他の敬愛と協力を重んじ、民主的な社会の形成者たるにふさわしい豊かな人間性を養う。</p> <p>②自主・自立の精神を養い、主体的にして責任ある行動のとれる人間を育てる。</p> <p>③学習及び諸活動における真摯・勤勉の気風と切磋琢磨の精神を重んじ、個々の能力の伸長を図る。</p> <p>④多様な学習によって、自らの未来を切り拓く力と創造性豊かな個性をはぐぐむ。</p> <p>⑤故郷の社会・文化を大切にする心を培い、地域社会の発展に寄与する人間を育てる。</p> <p>⑥木曾の豊かな自然を愛し、地球環境の未来を考える視野を養う。</p>	<p>①学習指導、生活指導、進路指導などあらゆる分野で生徒一人ひとりを大切にする教育活動を推進する。</p> <p>②多様な学習によって生徒の能力や個性を伸ばし、生徒それぞれの進路希望の実現をはかる。</p> <p>③さまざまな活動をとおり、生徒、保護者、中学生、地域の期待に応え、地域との連携と開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>④クラブ、生徒会、ボランティアなどの諸活動を積極的に支援し、地域や社会に貢献できる生徒を育てる。</p> <p>⑤いじめ・体罰等のない安心かつ安全な学校づくりをすすめる。</p> <p>⑥教職員・生徒一丸となって各学科の特性を活かす学びの環境づくりに努める。</p>

評価の材料・基準

- A. アンケート・評価 【 ア 生徒・保護者 イ 教職員 ウ 学校評議員 エ その他 】  
 B. 成績 C. データ D. 活動などの状況 E. その他

対象	評価項目(重点目標番号)	評価の観点	評価の材料・基準	
学 習 指 導	普通・理数	授業内容の充実 ①	授業内容、進度等が生徒に即した適切なものであったか。学習の意欲・関心を引き出す内容となっていたか。	A-ア D
		家庭学習の習慣 ①	毎日2時間以上の家庭学習を、生徒自らが主体的におこなうことができたか。	A-ア C
		補習内容の充実 ①②	補習に多くの生徒が参加したか。学力向上、進路の実現に効果をあげたか。	A-ア C
	共通	人権・平和学習の充実 ①⑤	修学旅行を通じて、平和について考えることができたか。人権学習を深めることができたか。	A-ア
	森 林 環 境 ・ イ ン テ リ ア	授業内容、指導法の研究 ①	シラバスの整備とそれに基づく計画的な指導ができたか。生徒の能力に応じた丁寧な指導ができたか。	A-ア D
		学力向上への取り組みと進路実現 ①②	専門性を生かした生徒のキャリア教育と進路実現ができたか。外部講師の活用や職員研修等によって、魅力ある授業が展開できたか。学習習慣の定着化を図ることができたか。	A-ア D
		各種資格検定への取り組み ①②	授業・補習等によって、計画的な指導をおこなうことができたか。生徒が満足できる成果・実績をあげることができたか。	C・D
教育課程の研究 ⑥		選択科目の内容等の見直し、研究ができたか。	D	
進 路 指 導	進路目標の明確化 ①②⑥	HR、総合的な学習の時間、進路ガイダンス、生徒面談、懇談会等を通じて、進路や生き方を考え、望ましい職業観を見につけ、できるだけ早い時期に自身の進路目標を明確にできているか。	A-ア C	
	具体的な進路指導 ①②⑥	3年間を見通した進路指導方針を立案し、それを実践できているか。生徒が学校見学、企業見学、インターンシップ事業等に積極的に参加し、それを進路決定に活かすことができているか。資料・情報を整備し、効果的に生徒に提供することができているか。	C・D	
	進路の実現 ①②	それぞれの生徒が望む進路を実現できたか。就職を望む生徒の希望を実現することができたか。国立大学に20人以上の合格者を出すことができたか。	B・C・D	

対象	評価項目(重点目標番号)	評価の観点	評価の材料・基準
生徒指導	生徒個々の人権を尊重する指導	①⑤ 生徒一人ひとりを尊重する人権教育を充実できたか。 生徒一人ひとりの状況にあった個別の指導を十分におこなえたか。	A-ア・イ ウ D
	集団生活をとおして社会性の涵養	①④⑤ 集団的な活動の中で社会の形成者を育成する教育がおこなえたか。 学校生活全般をとおして、基本的な生活習慣を確立させることができたか。 情報モラルを含めたメディアリテラシーの教育ができたか。 通学時のマナー及び交通安全指導が十分にできたか。	A-ア・イ ウ D
	カウンセリングの充実	①⑤ 生徒及び保護者にカウンセリングを周知し、相談指導が円滑におこなえたか。 生徒の実態を把握し、支援の必要な生徒に対し適切な指導がおこなえたか。 スクールカウンセラーと緊密な連携をとることができたか。	A-ア・イ ウ D
特別活動	自主活動の充実と生徒の自立	①④ 生徒会活動に対し、生徒自らが自分たちで目標を定め、自主的・積極的に取り組めるように支援できたか。 生徒会として、生徒会員の学校生活をより向上させる努力をするよう、支援できたか。	A-ア・イ D
	地域を視野にいれた生徒会活動	③④ 第7回蒼陵祭に主体的・積極的に取り組み、地域にアピールできるように支援できたか。 木曾養護学校との交流等、多様なボランティア活動を支援できたか。	A-ア・イ ウ・エ D
全般	生徒の人権尊重	⑤ いじめや差別をなくし、生徒の人権を尊重し、体罰・暴言などの指導にあるまじき行為が起こらないよう配慮する指導体制が築けたか。	A-ア・イ ウ D
	地域との連携	③ 地域の関係機関との情報交換をおこない、緊密な連携がとれているか。 学校評議員や地域からの意見を受け入れる体制ができたか。	A-ア・イ ウ・エ D
	P T A活動の充実 家庭との連携	③ 地区P T Aや各委員会の活動など、P T Aの諸活動が活発にできたか。 活動を通じて学校の様子を的確に伝え、学校への理解を深められたか。 P T A活動を通じて学校と家庭が課題を共有し、課題解決のために協力することができたか。	A-ア・イ D
	中学校との連携	③ 中学校での進路講演会などを通じて、学校説明会を十分におこなえたか。 学校説明会に多数の中学生が参加したか。 中学校訪問を積極的におこなったか。	A-ア・イ エ C
	各種行事への参加	③④ 「みどりとふれあうフェスティバル」等の対外的な諸行事に積極的に参加する事ができたか。 地域行事に積極的に参加・協力することができたか。	A-ア・エ D
	学校ホームページの充実	③ 内容を充実させ、魅力的なホームページとなっているか。 定期的に更新して、新鮮な情報を提供しているか。	A-ア・イ ウ・エ
	スクールマガジン 学校案内の発行	③ 内容や構成の工夫をはかり、学校の様子を中学生や地域にアピールすることができたか。	A-ウ・エ
	教育活動の公開	①③ 保護者、地域住民等に対する授業公開ができたか。 保護者や地域住民等が見学できる各種発表会を開催することができたか。	A-ア・ウ エ D
生徒・職員の健康管理	⑤ 生徒・職員の健康状態を把握し、疾病・怪我の予防や健康維持・増進のために適切な措置を講じることができたか。	C	
緊急時の対応体制の完備	⑤ クラス・クラブでの保護者への連絡態勢が整い、機能しているか。 緊急時に対応できる態勢がとられているか。	A-ア D	